

# ひがし 57/5/20

No. 258

広報

# しらかわ

## 人口の動き

— 4月末住民登録人口から —

|     |        |
|-----|--------|
| 世帯数 | 940世帯  |
| 人口  | 3,746人 |
| 転入  | 43人    |
| 転出  | 13人    |
| 出生  | 6人     |
| 死亡  | 4人     |

先月と比較して32人増  
昨年と同月と比較して8人増

■発行 東白川村役場 ■編集 東白川村役場総務課 ■住所〒509-13 岐阜県加茂郡東白川村神土548番地  
■☎<057478> 3111・内線34 ■印刷 益田郡下呂町 下呂印刷有限会社



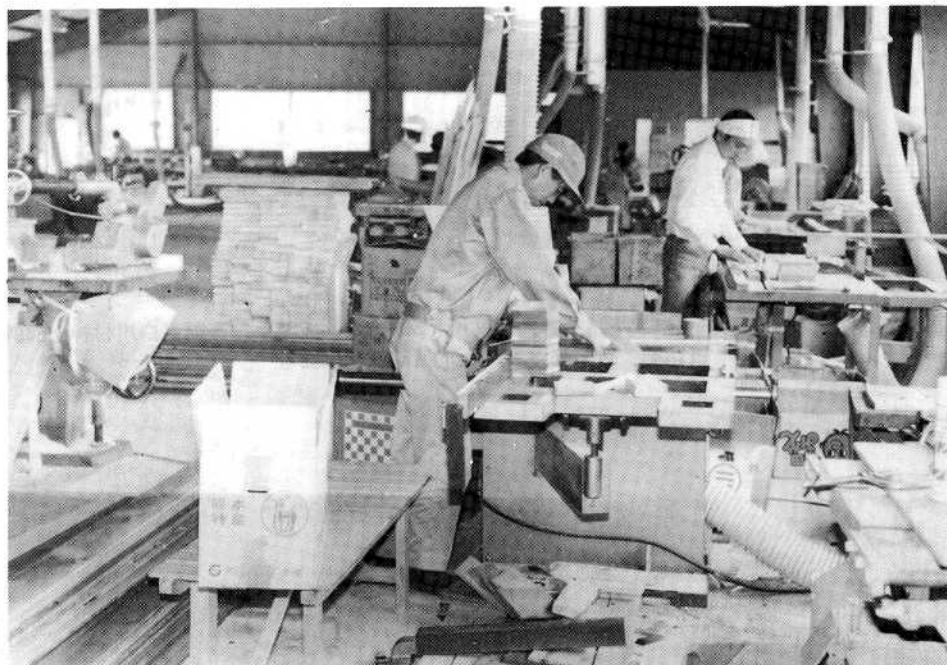
村の特産である白川茶の季節がやってきました。村内でいちばん時期の早い五加地区を皮切りに、5月11日から茶つみが始まりました。ほのかに漂う新茶の香りの中でこれから7月下旬にかけて、茶つみに集荷にと活気に満ちた毎日が続きます。

写真は五加地区での茶つみ風景。5月15日写す

### おもな内容

- 地場産業を魅力あるものに … P2~3
- 公民館講座のご案内 … P4~5
- 目で見る東白川小の1日 … P6~7
- 守ろうこどもの歯 … P8
- 商業統計調査を実施 … P9
- 親ぼく兼ねゲートボール大会 … P10
- 村の文化財① … P11
- カメラの目 … P12
- けいじ板は4・5の下欄

# 地場産業を魅力あるものに



地場産業として定着した木工所風景

## 商工会の手で地域振興計画を策定

昨年九月、商工会が中心となっておこなった「東白川村における地場産業と地域振興の方向」を主テーマにした調査研究事業の報告書がこのほどまとまりました。地域の商工業者が直面している問題、地域全体で取り組むべき問題などについて考え、地域商工業の活路を見出し出していくのがねらいです。報告書の名称は「東白川村地域振興計画」で、現在の本村の概況と問題点から、今後の社会経済、環境の動向と本村の地場産業の振興計画に至るまでの幅広いものです。

本号でこの計画の概略を紹介しましょう。



### 計画策定にあたって

商工会長 今井啓市

山村地域をとりまく諸情勢は、ますます厳しさを増し、年々進行する過疎化と人口構成の高齢化は、日常生活をはじめ産業経済など各分野にわたり、深刻な影響と不安をもたらしつつあります。

こうした中で、地域社会と密接な関係を持つ地場産業の発展と、その振興策を探るため「地場産業育成振興事業」として、国・県・村・県商工会連合会

をはじめ、専門委員の諸先生、また、村内関係団体のみなさんの熱心な指導とご協力を得て「東白川村における地場産業と地域振興の方向」をテーマとした調査研究事業を実施しました。

このほどそのまとめといえる「東白川村地域振興計画書」ができました。今後本村の地場産業育成発展と村ぐるみの地域振興の指針として、活用していただきたいと思います。



本村産業の基礎として打ち出された白川茶（写真上＝中通の高品質茶加工施設での茶の加工）と、高級建築材として需要度の高い東濃ヒノキの美林（写真下）



## 「木と茶」を 産業の主軸に

東白川村地域振興計画は、小規模事業対策特別推進事業としておこなったもので、生き生きとした魅力ある地場産業に育て上げようというものです。

報告書は▽概況と問題点▽地域ニーズと課題▽地域をとりまく社会、経済環境の動向▽振興計画——などについて、それぞれ細かくまとめられています。

計画策定にあたっては、村の商工会が中心となり、四人の専門委員と十人の委員をはじめ総勢二十数人のスタッフが昨年九月から進めてきたものです。この三月末の事業完了までに、三回の委員会のほか、専門委員会、

アンケート調査などをおこなっています。

本村の現況と問題点を踏まえた上で今後どうするのか——その方向づけとなる計画では、第一に「木と茶」を積極的に推進し進めるとしています。

### 利点多い「村ぐるみ会社」

第二には木材関連産業のブランド化とシステム化を図ることがあげられています。

製材業、建築業、それに建築関連産業の三者、つまり木材を消費していく側と、素材を生産する側の林家の両者が互いに手

本村の産業の主軸として期待される農業と木材関連産業を根底から見直し、あらためて村の産業の基礎として最大限に活用して特色あるものに育てていくというものです。

を取りあつて、森林資源の活用を進めていこうというのがこの計画のねらいです。

三番目には、お茶のブランドの強化と、流通の革新があげられています。数多くある飲み物の中で、緑茶の占める位置をし

っかりと確保することが最大の目標です。

昨今は飲食物に対する考え方も多種多様化し、緑茶を単にかわきをいやすためとだけ考えずそれを楽しむという考えもでてきているため、それにこたえてより味と香りを磨いた高級な白川茶をつくらうというものです。また計画では、そうしてできた上がつた茶の販売についても流通経路を拡大するなど、積極的に推進しなければならぬとしています。

計画の第四に「村ぐるみ会社」の創設が提案されています。

「村ぐるみ会社」は、産業のシステム化と経営の共同化、近代化をはじめ、村内資源の有効利用、人材の適正配置などを、文字通り村全体が一つの組織体として体制をつくり上げていくというものです。

多くの利点があると同時に、困難も多いと予想されていますが、長い時間をかけて一つ一つ問題を解決し、少しずつ条件も整えていかなければ実現は不可能です。

しかし、その実現がもたらす利点を考えると、一步一步足場を固め着実に実現への道を歩むことが望ましい姿だといえます。

# あなたも参加しませんか

## 公民館講座のご案内



### 読書

最近、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌などで「生涯教育」ということばを見たり聞いたりします。また、今日の複雑な社会機構の中で高齢化社会の進行、地域連帯感の減退、青少年非行の増加など、さまざまな問題や課題が発生しています。こうした中で、私たちが豊かで幸福な生活を送るためには「自発的に絶え間なく学習し、常に自己啓発に努める」と

テーマブックをもとに、読書で得た感動を仲間と共に深め合ったり、作品に関係のある地へ文学散歩したり、また、短歌や俳句の勉強も盛り込まれた楽しい講座です。  
学習日は毎月一回で、五月から十二月まで八回開かれる予定です。時間は午後一時から三時までで、村民センター婦人の部屋が会場です。

### 村誌



昨年の村誌解読講座のもよう  
——経営相談室で

いう態度が必要——との観点から、この生涯教育が強く叫ばれているのです。  
教育委員会では「知的ゆとり」の時間を——と、次のような学級講座を開きます。参加者の要望が学習内容に反映されるよう、計画に弾力性がもたせてあります。共に高め合い、みがき合う「生涯教育」の場として、ぜひお出かけください。

この四月発刊した新修東白川村誌「通史編」をテキストに、厳しかった歴史の流れの中での祖先の努力や苦勞など、講話と話し合いの中で学習し、郷土への理解を深めていこうという講座です。  
読書講座と同様、学習会は毎月一回、十二月まで八回の予定。村民センター林業研修室を会場に、午後一時から三時までおこなわれることになっています。

### けいせいばん



誕生おめでとう  
ございます

■戸籍の窓(四月) 〈敬称略〉

(栃山) 安江 春幸 太

(平) 安江 玲二 女

(大明神) 桂川 三三四 正樹

(大沢) 今井 満男 梨可

(柏木) 栗本 義和 貴章

(上親田) 安江 龍夫 良介

(登貴子) 登貴子 良介

(安江) 和人 (平)

(今井) 佐枝子 (平)



いつまでも  
おしあわせに



おくやみ  
申しあげます

粥川 ふくよ 84歳(陰地)

沢木 克郎 81歳(陰地)

今井 利一 67歳(神付)

安江 サト 83歳(平)

# 華道

めまぐるしく移り変わる社会の中で、せめてひととき心のな

生け花の発表会 一大集会室で



ごむ時間がほしい——そんな気がする今日です。

華道講座は、そうした意味も含めて開いています。毎週月曜日の午後七時から九時までの二

時間、村民センター青年の部屋で、四季おりおりの自然の中から新たな美しさを創り出していきます。男性もぜひ参加してみませんか。

## 父親が学ぶ会

昨年スタートした父親が学ぶ会は、健やかなわが子の成長を願う親として、父親の役割はどうあったらよいのか——父親どうしひびきを交えて語り合う会です。

校内暴力や家庭内暴力など、こどもたちの非行が続発し、またその低年齢化が進んでいることから、対象を小・中学生を持つ父親とし、年五回、村民センター農業研修室を主会場として開かれます。



昨年の父親が学ぶ会の学習風景 — 農業研修室で

## 茶道

日本古来の芸道である「茶の湯」は、身近な日常生活の中で、心の糧と安らぎを求め、自己修業をしながら楽しみをつかもうという若い人たちの間で根強い人気があるようです。公民館座では、毎週木曜日の夜六時から八時まで「わび」や「さび」に通じる茶の道を、仲間と共に楽しみながらきわめていきます。

会場は村民センター 婦人の部屋で、その成果を発表する茶会も年に一回開かれます。



茶会風景 — 一大集会室で

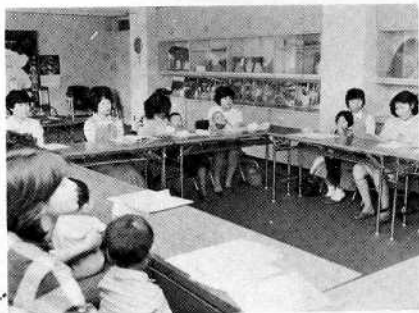
## 乳幼児期学級

〇歳から三歳児を持つ母親を対象とした、乳幼児期学級が今年度からスタートしました。

「三つ子の魂百まで」といわれるように、乳幼児期の子育てはたいへん重要であり、その子の将来を左右するとまでいわれています。少しでもよい子に育てたいと願うお母さんたちを対象に、年七回の学習会を通じて乳幼児に対する親の生活感情や生活態度を豊かにしてもらおうというものです。

講話と話し合いが主体ですが、

ときには実技指導などもとり入れておこなわれる計画です。



五月十二日におこなわれた開級式のもよう — 農業研修室で

### ■善意の寄付（敬称略）

〔五加運動場管理棟へ〕

スリッパ二十足—五加婦人会

〔東白川小学校へ〕

児童用図書百冊—今井しずゑ（豊田市広田町）、ぞうきん五十枚—五加婦人会、みつばつつじ一株—安江庄兵（黒淵）

〔東白川中学校へ〕

ぞうきん六十枚—五加婦人会、スリッパ二十足、ぞうきん百枚—神戸婦人会

〔社会体育へ〕

卓球台一台—菊田丑夫（平）

■有線使用料など

改定のお知らせ

ことしから、有線放送協会使用料などの料率が改定されました。

一般加入者の場合、電話器一台につき月額千円（改定前九百円）に引き上げられたのをはじめ、公共に準ずる団体

法人は年額一万二千元（同一万八千円）、地域共同施設は年額四千二百円（同三千六百元）、増設宅内特別施設も月

額二百円（同百円）に。また新設加入負担金も一台につき三万円（改定前二万五千元）

増設も一台につき二万五千元（同二万円）と、それぞれ五

千円の引き上げです。

# 開校から二年。こどもたちは今

## 目で見る東白川小の一日

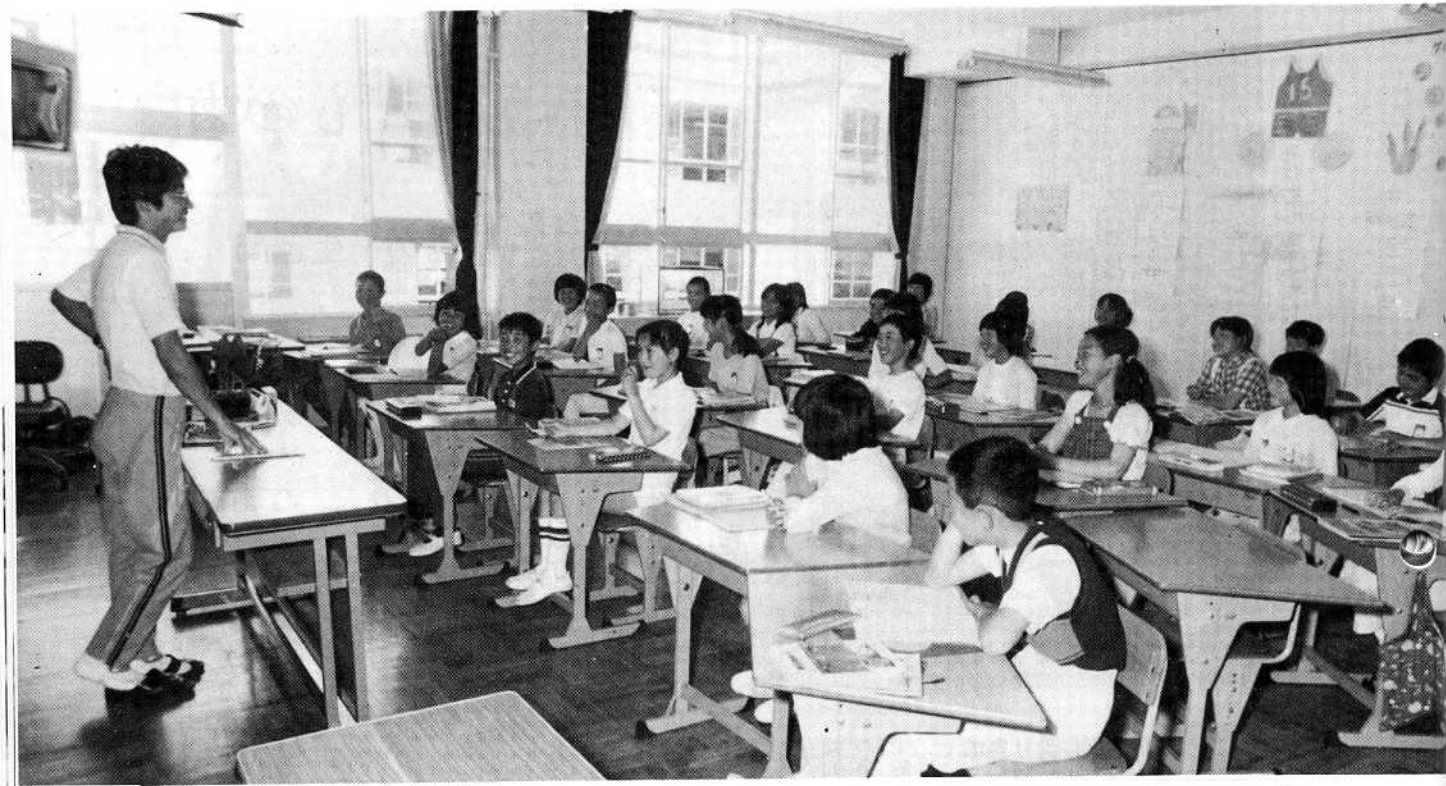
昭和五十五年四月に開校した東白川小学校も、早や二年を過ぎました。ゆったりとした校舎、広いグラウンドをはじめ、体育館やプールも備え、さらにオープンスペースなどの特徴を持つ新しい学び舎で、新時代にマッチした教育がおこなわれてきました。本号では二年を経過した東白川小学校でのこどもたちの姿を、カメラの目を通して紹介してみます。



登下校時にスクールバスを利用する小学生は約200人。  
徒歩通学とちよびり違う楽しみも —こまどり2号車内で



今日はなにが出るかな。楽しい給食の時間



普通教室での授業風景。学習によっては備え付けのビデオテレビも使用 5年2組で



バスケットクラブも体育館で練習します



毎週火曜日の六時間目はクラブ活動がおこなわれています。右上は調理クラブによる実習風景（家庭科室で）右下は音楽室での太鼓の練習



# 守ろうこどもの歯

6月4日  
～ 10日 歯の衛生週間



フッソ塗布はむし歯予防に効果的な一つの方法です

毎年六月四日から十日までをむし歯予防週間と定め「よい歯で、よくかみ、よいからだ」を合言葉に、むし歯予防運動が実施されてきました。しかし、こどものむし歯はいぜんとして多い状況です。この機会にもう一度みんなでおし歯予防を考えてみましょう。

## 3歳児で半数超えるこどものむし歯

こどもの歯は、六、七か月ころからは始め二歳ころには十六本の乳歯がはえます。本村ではこの時期に三〇・八%もの

こどもにもむし歯があります。

これは県平均の九・七%に比べはるかに高い数値です。

また、三歳児健診でのむし歯保有率をみると、本村は五五・八%で、これもまた県平均の六%に比べ非常に悪い結果です。

これらのことから、本村のこどもは早い時期にむし歯になる傾向が強いといえます。妊娠期の歯の質を決定する時期から、栄養などに気をつけることはも

ちろん、歯がはえ始めたらさっそくむし歯予防を心がけることが大切です。

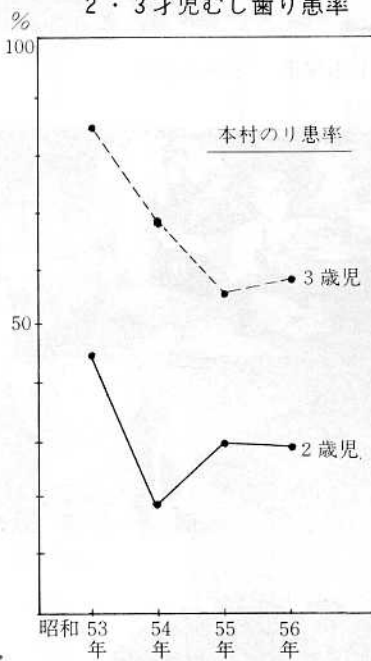
## 予防は家族ぐるみで

むし歯は口の中に食べかすが残っていること、歯の質が弱いこと、それに口中にむし歯菌がいることによってできます。

予防するには、これらを取り除けばよいわけですが、母親一人があせつてもできません。家族そろってこどものむし歯を守る努力が必要です。次の三つのことに注意してみてください。

- ▽おやつをむやみに与えない
- ▽食べたからお茶を飲ませたり歯みがきをさせる習慣を。
- ▽歯の質を強くするため、小魚、牛乳などを積極的に食べさせるとともに、予防のためのフッソ塗布もあわせておこなう。

2・3才児むし歯り患率



## 季節の話題

もう一枚、純然たるおしやれ用のハンカチを持つていれば言うことはありません。これは食事のときひざにいたり、手に持って動作に表情を添えるためのものですから、レースをあしらったり刺しゅうをほどこしたきれいなものを。ときと場所を考えて、オーデオロンや香水を染みこませるといっそう効果的です。男性の場合は少なくとも、手ふき用の一枚はピシッとアイロンをかけた清潔なものを持ちたいものです。

## 季節の話題

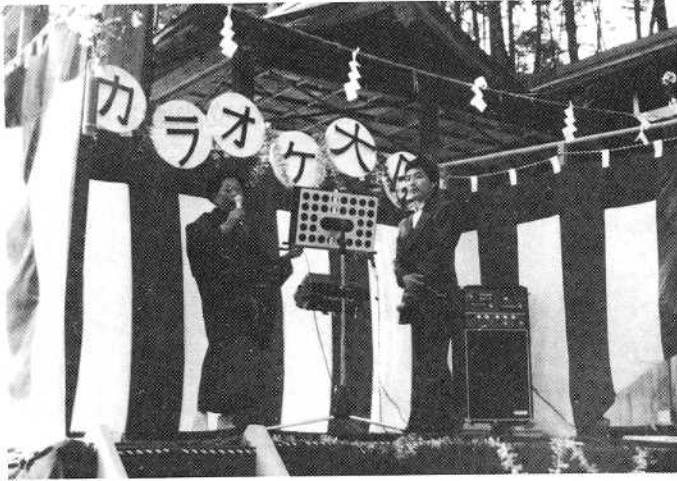
日によっては、汗ばむほどの陽気となり、ハンカチで額の汗を押さえるという動作も目につきます。汗を押さえた手を手をぬぐったりするハンカチ本来の目的に使用するには、男女を問わず男ものサイズが便利です。

ただ、女性の場合は、パーティーに出たり外で食事したりしたときに口のまわりなどを押さえるハンカチは、人前で使うという点を考えて、やや薄手のおしゃれっぽいものを。

ハンカチ







## 披露ののどを自慢のカラオケ

で春祭りの子護神社

越原大明神の子護神社の春祭りが四月二十四日におこなわれました。同神社の祭りに

は、村指定の無形民俗文化財である神楽獅子（かぐらじし）が毎回奉納され、地元の人をはじめ村外に住む地元出身者からも大勢集まるなど、郷土色豊かな祭りが繰り広げられています。最近では、祭典終了後のもち投げにひき続いてカラオケ大会がおこなわれるなど、以前にも増してなじみ深い、また、楽しい祭りとなっています。ことしも特設ステージを設けてカラオケ大会（写真）がおこなわれ、小学生からお年寄りまで約三十人が参加し、自慢ののどを披露しました。同地区では、毎年この祭りのあと、お茶つみに田植えにと野良仕事の本格的な時期を迎えます。

昭和57年

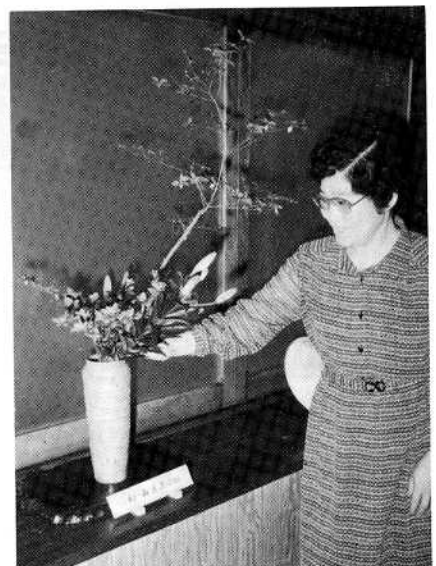
## 商業統計調査を実施

6月1日現在

通商産業省では、六月一日現在で商業統計調査を実施します。この調査は「商業の国勢調査」ともいわれるもので、わが国の商店の分布状況や販売活動の実態および商品の全国的な流通状況などを明らかにするため、全国

の卸売業、小売業および飲食店を営んでいるすべての商店を対象におこなわれます。調査の結果は、国や都道府県、市区町村における商業の育成、流通機構の近代化などの施策を進めるうえで重要な基礎資料として多くの分野で利用されます。また、各商店が経営指針を作る

際にも広く役立っています。調査は、都道府県知事から任命された商業統計調査員が商店を直接訪問し、調査票に記入していただいで回収するという方法でおこないます。ただし、飲食店のうちバー・酒場などについては聞きとりにより調査票に記入する方法です。提出される調査票は、統計法により厳重に秘密が守られますので正確な申告にご協力ください。



生け花を飾る山月流の教室  
—— 役場の村長室で

## 生け花飾って三年目

華道 山月流 教室生ら毎週欠かさず

華道山月流の生け花を学ぶ東白川教室生（村雲春子代表・十四人）たちが、毎週欠かさずに村民センターや役場など七か所に自分たちが生けた花を飾っています。

この教室が本村で開かれたのは昭和五十五年十二月。それ以前にも二、三人の人が、村民センターと中学校の二か所に生け花を飾っていましたが、本格的なボランティア活動としておこなわれるようになったのは、この教室がスタートしてからで、ことしで三年目になります。

代表の村雲さんは「多くの人に心のなごむ生け花に親しんでもらおうと、週一回の学習会で生けたものを飾ってきました。今後も続けていきたい」と話されます。

この教室は、中途での加入はできませんが、ことしの十二月で第一回が修了することになっており、来年一月から三年間にわたる第二回目スタートということになります。次の機会にはより多くの人に教室生として加わってほしい——と話しています。

## 親ぼく兼ねゲートボール大会 加子母村との交流図る



お年寄りの間で、全国的なブームを呼んでいるゲートボール。本村でもその例にもれず七つの老人クラブで連日のように練習がおこなわれています。

そんな中、去る四月二十七日には、おとなりの加子母村と合同のゲートボール大会が総合運動場でおこなわれました。写真。本村と加子母村からそれぞれ七チーム、約百二十人が参加し、昼食をはさんで四時間半にわたる熱戦を繰り広げました。

結果は、本村が上位を独占する圧勝に終わりましたが、なにより親ぼくと交流が目的の大会だけに、終始なごやかなムードがただよっていました。この大会は、昨年加子母村で開いたのに続いての二回目、関係者らは今後も続けたいと話していました。

## 紙芝居で交通安全指導

### 青年女子らが保育園を訪問

村青年団（古田雅彦団長・五十一人）の女子活動部（安江千伴子部長・十三人）では、四月二十日と二十二日に、村内の保育園で、紙芝居を使って園児らに交通安全指導をしました。

全国的におこなわれる春の交通安全運動とあわせておこなったもので、信号機の無い本村のチビッ子たちに、信号機を知ってもらおうと、赤、青、黄の三色を使ったペンギンのワッペン

をプレゼントするなど、部員たちもいっしょけんめいでした。

部長の安江千伴子さんは「青年の女子活動はここ二年くらい活動らしい活動はしていなかった。このことはいろいろなことに挑戦してみたい。さしあたって次には、福祉活動の一つとして古切手を集めたいと思っています。村内のみなさんのご協力をお願いします」と意欲的に話しています。



紙芝居を使って交通安全指導する青年女子活動部員

五加保育園で

## 暮らしのカレンダー

### ※子宮がん検診

- ・とき・ところ  
6月1日—五加公民館  
2日—旧越原小上校舎  
3日—東白川病院前  
受付時間は12:30~14:00
- ・対象者 満30歳以上の婦人
- ・費用 1,500円
- 受診申し込みされなかった人もこの機会をご利用ください。

### ※加茂郡体育大会

- ・とき 6月6日
- ・ところ 白川町・東白川村
- 本村からバレーボール、バスケットボールなど9種目に200人余りの選手、役員が参加します。ご声援ください。

### ※日本脳炎予防接種

- ・とき・ところ（第1回）  
（五加保育園）  
13:30~14:00  
（神土保育園）  
14:15~14:50  
（中学校）  
15:00~15:30  
（越原保育園）  
6月10日  
13:30~14:00  
（小学校）  
14:15~15:00  
6月11日
- ・対象者 保育園児全員と小学4年生、中学2年生
- 第2回は6月24、25日の予定

### ※青少年の主張大会

- ・とき 6月12日 14:00~
- ・ところ 村民センター
- 小学生、中学生、高校生、青年の代表10人が、将来への希望や郷土のためにやりたいことなど5つのテーマで意見を発表します。

### ※三種混合予防接種（第3回）

- ・とき 6月18日  
13:30~14:00(受付)
- ・ところ 東白川病院
- ・対象者 S53.4~55.3.31生まれの未接種者と追加
- お出かけの際は、体温を計るとともに、母子健康ガイドに必要事項を記入し、ご持参ください。

### ※加茂郡陸上体育大会

- ・とき 6月20日
- ・ところ 七宗町
- 昨年は23人の選手が出場し、各種目に好成績を残しました。ことしは約30人の選手が短距離や中距離、走り幅飛び、走り高飛びなどに参加する予定です。

今月の図書



オスカーをたのむよ

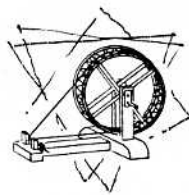
橋本 一俊  
橋本日那子

急速に進行している現代の医学でも治ゆることが難かしく、その原因さえつかめない難病が数多くあります。

進行性筋ジストロフィー症もその一つです。橋本一俊君はこの病気のために19歳の短い生涯を閉じました。

その一生は、死を見つめながら、病氣との闘いの日々でしたけれど「人間の一生は短い、短いからこそ自分を完全燃焼させなければいけません」と言い切ることができるほど、明るく力強いものでした。

現代社会の中で、ともすれば流されがちに生きている私たちに、命の大切さと、自己を見つめながら生きるということの意味を深く問いかけます。



① 村の文化財

越原のオオミガヤ

57年1月27日指定

越原陰地の名古屋女子大学越原温泉学舎校地内にある、オオミガヤが、村指定天然記念物として、この一月文化財指定になりました。

「越原（こしはら）のオオミガヤ」写真』は、胸高周囲約二・九メートル、樹高約十メートル、枝は南北に十二メートルあり、五百年余の風雪に耐え抜き、なお樹勢がよく、県内はもとより全国的にも数少ないため、天然記念物として指定されたものです。

オオミガヤは、滋賀県で初めて発見され、続いて三重、奈良、宮城の各県で数本確認されました。本県では中津川市で発見されています。

オオミガヤはその名の示す通り種子（実）が大きいのが特徴で、種皮が左又は右にねじれ

ているものが多いといわれていますが、決定的なものではないようです。

所有者は越原学園理事長の越原公明氏。このオオミガヤにまつわる余話として、代々庄屋だった越原家では、毎年その実を取り、珍味として来客のもてなしや献上品として珍重していたということです。

村誌編さん室だよりにかわつて、本号から村の文化財を紹介します。

ちなみに、現在村指定文化財は、遺跡四件、建造物一件、古文書三件、無形民俗文化財一件、有形民俗文化財一件、天然記念物五件で、合わせて十五件あります。

今月の料理

鶏肉のゆかり揚げ

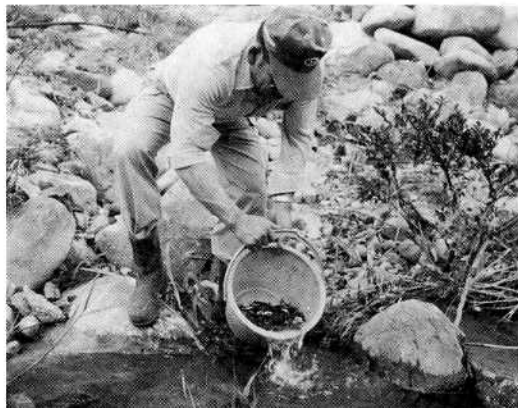


【材料（四人分）】半ぺん二分の一枚、鶏ひき肉百グラム、塩少々、マヨネーズ大さじ一杯、青じそ十二枚、レモン一個、小麦粉、揚げ油各適宜

【作り方】①半ぺんは細かく刻み、しいたけはさつと洗って水気を切り、石づきを取ってみじん切りにします②すりばちに①の半ぺんを入れてすり、鶏ひき肉を加えてさらによくすり合わせます③のしいたけも加え、ほんの少々塩味をつけ、マヨネーズを加え混ぜ合わせます④青じそに小麦粉を薄くふり⑤のひき肉をのせ、二つに折り天ぷらに通し、ころもを薄くつけます④揚げ油を一七〇度くらいの中温に熱し③を入れ、カラリと揚げます⑤器に盛り、レモンのくし型を添えてでき上がりです。

ビールのつぎ方

①コップの口よりびんを一センチほど離して注ぎはじめます②コップを斜めにしないのはあわをよく立たせるため③あわでふたをしたビールは、酸化とガスの放散を防ぐからです。



カメラ  
の目

### 大きく育て!!

#### 稚アユ 200キロを放流

大きく育て!!と、本村の神土、越原、五加の漁業組合では、5月4日、ことし3回目の稚アユの放流を、大沢地内の白川から大明神川にかけて約200<sup>キ</sup>を放流、体長7~8<sup>センチ</sup>の稚アユは前日の雨で水量の増した川の上流へと元気いっばい上っていきました。

ことしの放流量は例年並みの1,150<sup>キ</sup>で、5月中に残りの約450<sup>キ</sup>を放流しました。

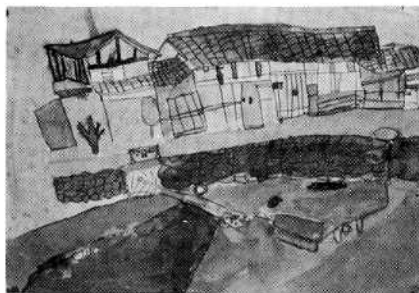
7月中旬の友づり解禁ころには約20<sup>センチ</sup>に成長し、太公望たちを楽しませてくれることでしょう。写真は稚アユを放流する漁業組合役員。大口地内の白川で。



今井堅介ちゃん  
56・3・9生まれ

西洞  
今井光・礼子さん  
の二男

すくすく育て



「家」  
東白川小三年 今井貴之

みんなの作品



あなたの作品  
をお寄せくださ  
い。  
・初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。  
・毎月末までに、神土田口良三宛に出してください。

花冷えに山は冠雪苗代をはじめし人もとまどひて居り

伊藤 重雄

探し物なしつつ何を探すのかそれも忘れて己んぬるかなや

田口 晃

惜し気なく散り果てにけり桜花駅の舗道に靴跡のつく(下呂温泉)

村雲 伝三

荒切りて耕耘機入れる明日を待ち霧の晴れゆく青空仰ぐ

小池いちの

白髪も増えてかの日の父母の歳遙かに超えて故国の土踏む

小池 弘子

小鳥らの鳴きつつ騒ぐ山あひに鷹は悠々と空に舞ひ居り

今井 惣十

久々に花の種蒔く土の香に五月の朝の陽が沁みわたる

安江 守平

深爪のうづく指先さかばいつつ仕上げを急ぐ針もどかしき

三戸 きり

生あらば八十才に在すなり軍服の遺影の父は濃々しく

今井 米子

笑ひさえ忘れし如き孤児達の複雑な面輪ゆがみて映る

安江と志江

手伝ふよと小さき鎌もて幼な孫わが打つ畝を端から崩す

安江 幸

戦死者の無数にありし国に住み桜満開のその下を行く

田口 圭二

鶯は声宛転と鳴き次ぎて峡間は花の霞たなびく

加藤 公一

戦争の作られてゆくプロセスを見詰めゆくなりフォークランドに

山川 潤

植付けしままの芋種掘りてゆく猪よ駄目だよ秋まで待てよ

田口 良三